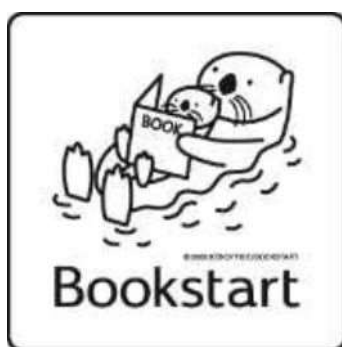


平成30年度
ブックスタートボランティアアンケート
結果報告



新潟市立中央図書館

令和元年7月

平成30年度 ブックスタートボランティアアンケート結果報告

■目的

ブックスタート事業へのボランティアの意識を調査し、今後のモチベーションアップに向けた取組への参考とする。また、ブックスタート事業の充実や広報に活用する。

■調査実施期間

平成31年2月15日（金）～4月30日（火）

■対象

平成30年度活動者及び、平成30年度活動休止で平成31年度に活動予定のブックスタートボランティア 191人

■調査方法

平成31年度ブックスタートボランティア活動希望調査票とともにアンケート用紙を送付。アンケート用紙を図書館へ持参またはファックス・メールで回答。または「新潟市かんたん申込み」より回答。

■回答数

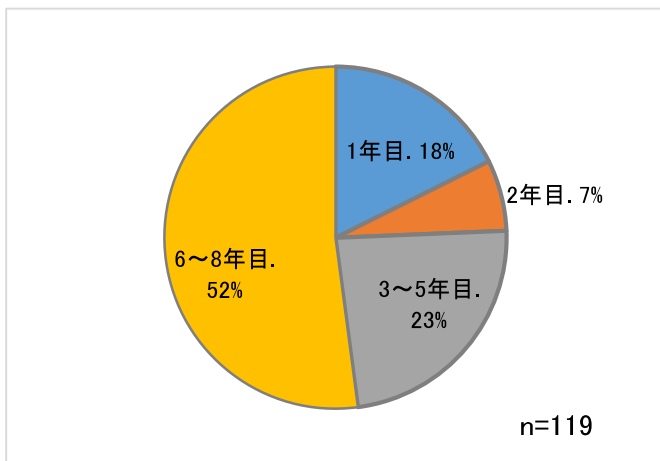
119人（回答回収率 62.3%）

アンケート用紙での回答 114人、かんたん申込みでの回答 5人

※図表中の「n」とは、回答総数を表しています。

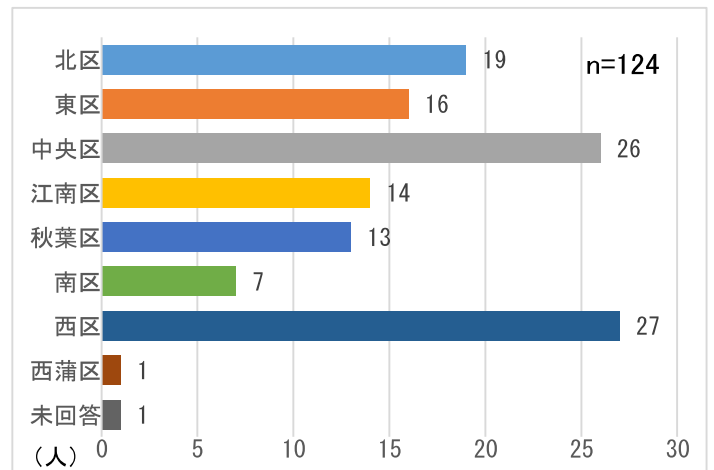
■回答結果

1 ブックスタートボランティアをはじめてどのくらいですか。

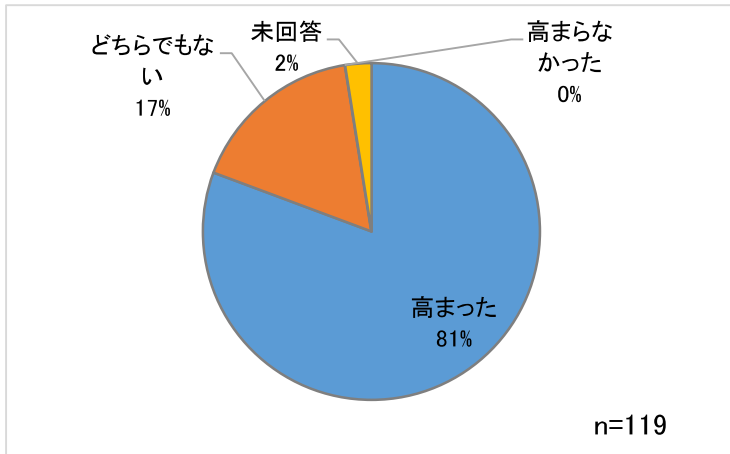


2 平成30年度の活動区はどちらですか。（複数回答可）

※平成30年度に活動を休止されていた方は、以前に活動していた活動区を選択

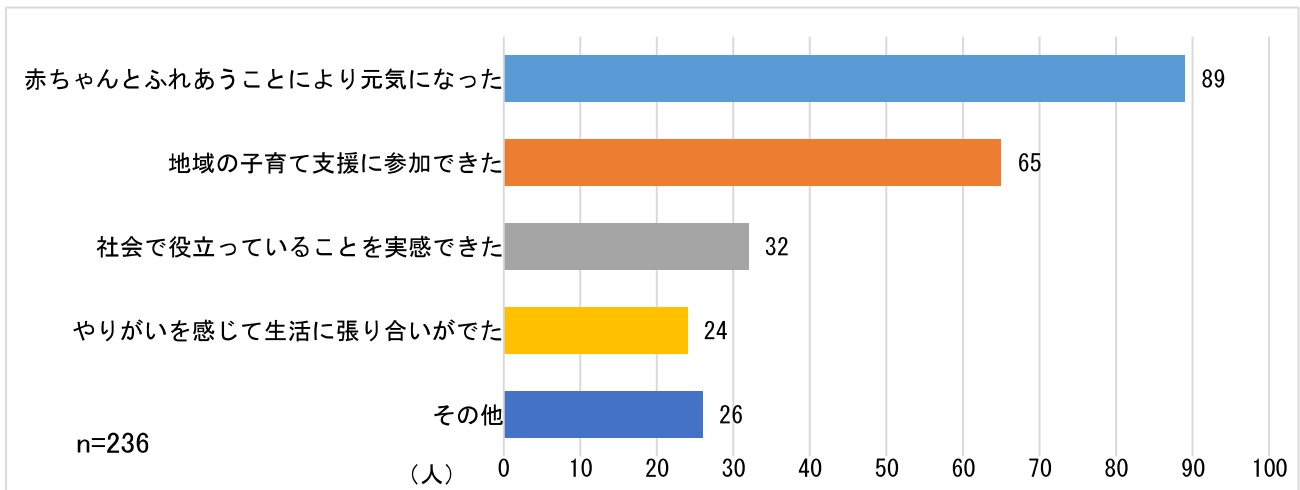


3 活動に参加することで、子育て支援や子どもの読書への関心が高まりましたか。



ブックスタートボランティアの活動に参加することで、子育てや子どもの読書への関心が高まったと答えた方が約8割いました。

4 ブックスタートボランティアをしてよかったことは何ですか。(複数回答可)

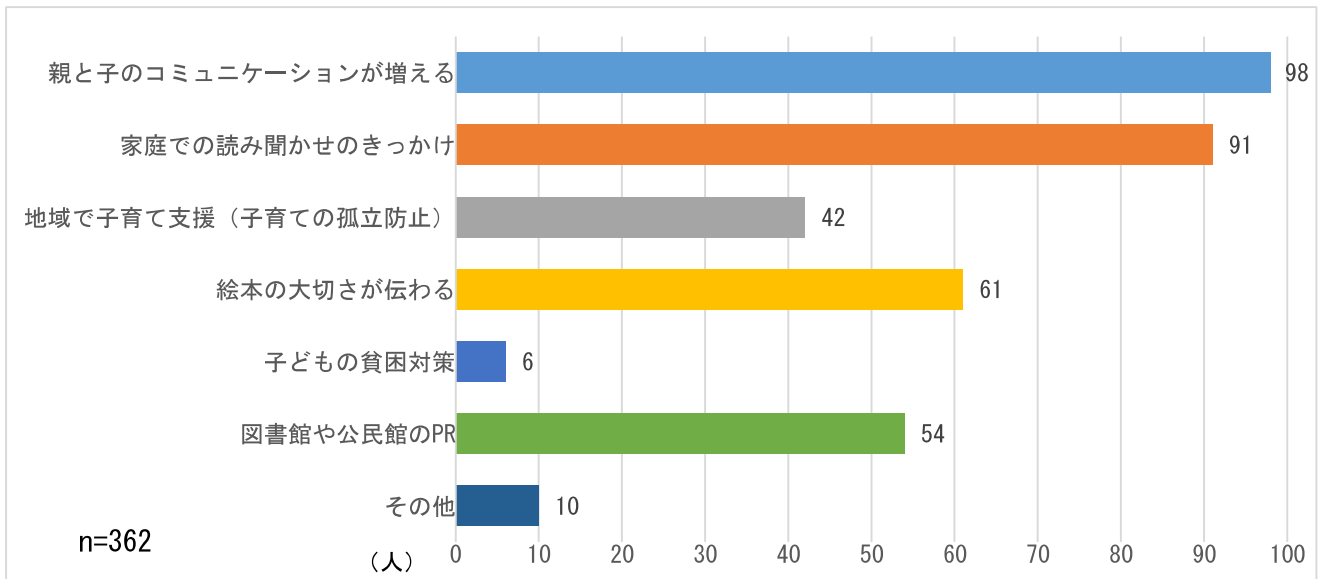


【その他 記述】一部抜粋

- ・赤ちゃんや保護者の方と触れあえて楽しかった。
- ・悩んでいる保護者と会話の中で安心感を与えることができた。
- ・今の子育ての様子や子どもの発達を知ることができた
- ・自分の孫に活かせる機会となった。
- ・歯科健診の後の絵本で赤ちゃんを笑顔で帰すことができた。
- ・自分自身が豊かになった。
- ・新聞や本をたくさん読むようになった。
- ・気の合う方に会えてお友達になれた。

「赤ちゃんともふれあうことにより元気になった」が最も多く、活動をすることでボランティア自身の充実にもつながっていると思われます。また、「地域の子育て支援に参加できた」「社会で役立っていることを実感できた」など、社会での役割を担う意識も高まっています。

5 ブックスタートにはどのような効果があると思いますか。(複数回答可)

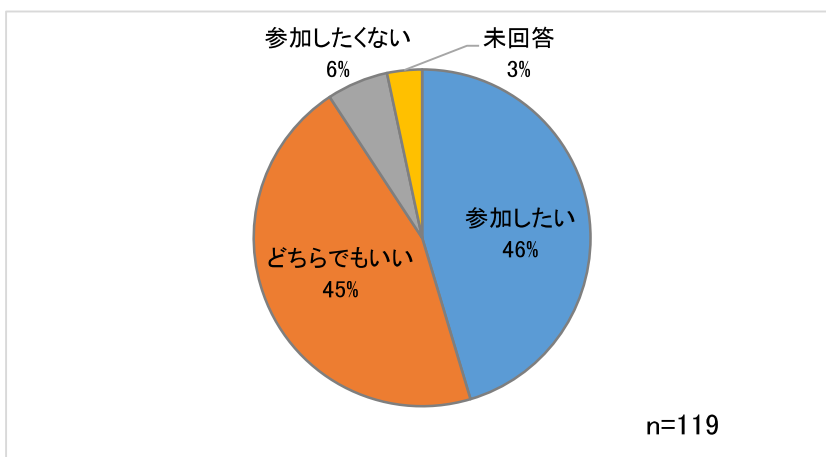


【その他 記述】一部抜粋

- ・ボランティアだと身内より話しやすい面がある。
- ・保護者の(絵本への)意識が少し変わる。
- ・子育てに関する情報提供

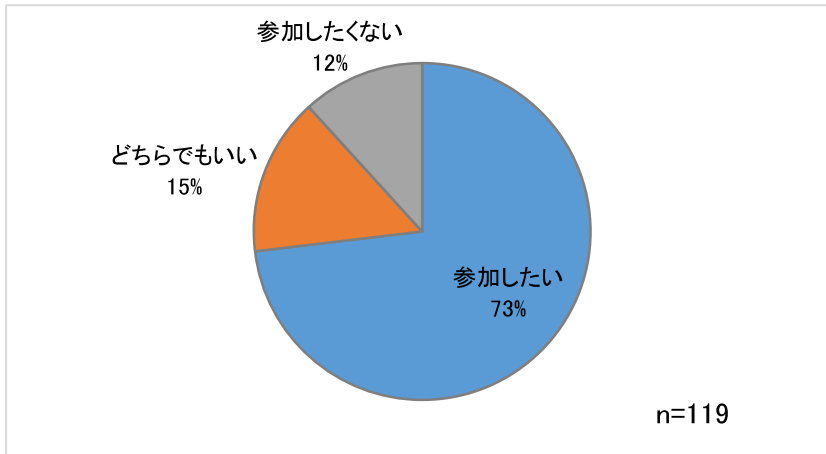
「親と子のコミュニケーションが増える」「家庭での読み聞かせのきっかけ」と回答した方が多かったです。

6 ボランティア同士の交流会があったら、参加したいと思いますか。



約5割の方がボランティア同士の交流会に参加したいと回答しています。

7 ステップアップの講座があったら、参加したいと思いますか。



【参加したい 講座の内容】 一部抜粋

- ・体験等を話し合う機会
- ・読み聞かせの方法について
- ・絵本の選び方、特徴など
- ・わらべうた・手遊び
- ・絵本作家について
- ・今、育児中の親を取り巻く環境や心理についてなど
- ・親子への話し方・対応など
- ・赤ちゃんの心の発達講座
- ・ブックスタートの目的と意義
- ・他市や全国の実施状況

約7割の方がステップアップ講座に参加したいと回答しています。絵本の読み聞かせや親子への対応などの内容の講座を希望する方が多かったです。

8 その他（ブックスタートについて、ご意見・ご感想等 回答数：49） 一部抜粋

- ・ブックスタートを今後も継続してほしい。
- ・ブックスタートを継続することで、何らかの成果が見えてくるのではないかな。
- ・ブックスタートに来られない子どもにも本を届けてほしい。
- ・スマホなどのメディアに触れる機会が多いので、1歳より早い時期でブックスタートをしたほうがよい。
- ・ブックスタート後にも絵本に親しめるように、図書館や保健センターからの関わりがもっとあるとよい。
- ・ブックスタートがだいぶ定着してきたと感じる。
- ・この活動により、絵本が子育ての中で、大切なことを確実に伝えていると思う。
- ・赤ちゃんタイムのおはなし会への参加に、繋がってきていると思う。
- ・絵本の読みきかせを通して、赤ちゃんに触れ合う時間、その子のためだけに保護者が向き合っていることを赤ちゃんに伝えられる時間にもなる。
- ・家の中で近くに本のある生活に潤いを感じる。子育て中の保護者や赤ちゃんから元気をもらい、少しでも応援したい。

- ・若い保護者とのふれあいは嬉しい。大切な役割だと感じている。細く長くお手伝いしたい。
- ・赤ちゃんに絵本は早いと思う保護者もいる。ブックスタートを受けて、赤ちゃんの絵本への反応に驚き、喜んで帰る方もいる。泣いている赤ちゃんを笑顔にする絵本のパワーに感動している。
- ・健診で泣いている赤ちゃんも最近は絵本を見て泣きやむことが多くなった。ブックスタートは絵本を読むきっかけ、図書館を利用するきっかけになっていると思う。
- ・あらためて子育ての大切さを感じた。親子にとって、子育てに多種類の本を共有し楽しんでほしい。
- ・初めての子育てに挑戦している保護者に「力を抜いても大丈夫」と経験からアドバイスできるのではと感じた。アドバイスや、何気ない話を聞くことも大切なのではないかと考えた。
- ・ブックスタートに参加して良かった。
- ・自分の方が赤ちゃん達にボランティアされているような、楽しい時間になっている。
- ・自分も楽しみながらやっていきたい。
- ・ブックスタートのボランティアの研修を通じて「学ぶ意欲」がさらについた。
- ・ボランティアへの図書カード配布を復活してほしい。
- ・もっと頻繁に活動したい。
- ・活動が長時間だと疲れるので、ボランティア人数を多くして交代制にしてはどうか。
- ・親子一組に対応する時間にもっと余裕を持たせてもよいのではないか。
- ・図書館と連携がうまくいっているので、活動しやすい。
- ・歯科健診の前の方が落ちついて本の読み聞かせができる。
- ・ブックスタートボランティアの交流会を是非やってほしい。
- ・ブックスタート後のボランティア同士の報告で、他のボランティアの感じ方や気づきを聞くことができるととても良いと思うので、他の地域センターの意見や感想も知る事ができたら役に立つと思う。
- ・幼稚園や小学校に子どもが入学して少し育児から手の離れた若い世代にも参加してもらえるように養成講座を増やしてほしい。
- ・参加者（保護者）の意見も聞きたい。

新潟市のブックスタートは今年度で9年目を迎えました。ブックスタート事業は、絵本を通じた親子のふれあいの大切さを伝えるとともに、ボランティアの皆さんの協力により、地域で子育てを応援する事業にもなっています。

図書館では今回のアンケート結果を受けて、ブックスタートボランティアの皆さんの活動及びブックスタート事業がより充実したものになるように、ボランティアの養成やブックスタートの進め方を検討していきます。



住所 〒950-0084
 新潟市中央区明石2-1-10
 電話 025-246-7700
 URL <https://www.niigatacitylib.jp>